

関西・中部 アカデミア

一橋大学は、関西・中部でシンポジウムや講演活動を行う「アカデミア」を通じ、社会科学の研究総合大学ならではの諸問題への優れた分析と方策を提唱します。

2022年[令和4年]

2.12 (土)
12:00~14:00

定員 900名

定員になり次第
受付終了

参加費 無料

開催方法 オンライン
(Zoomウェビナー)

地政学的リスクとESG投資 米中の戦略的競争の狭間で

PROGRAM プログラム

開会挨拶

大月 康弘

一橋大学副学長

パネル・ディスカッション

第1部 国際投資環境の新たなトレンドとしての
ESGと米中対立：日本にとってのリスクと機会

第2部 日本および日本企業の選択

パネリスト

秋田 浩之

日本経済新聞社本社コメンテーター

本田 桂子

コロンビア大学国際公共政策大学院客員教授、
多数国間投資保証機関(MIGA)元長官

和田 照子

一般社団法人日本経済団体連合会国際経済本部長

モデレーター

秋山 信将

一橋大学大学院法学研究科、国際・公共政策大学院教授

気候変動・再生可能エネルギーや人権、ガバナンスなどが投資判断の重要な要素として注目されるようになる一方、気候変動や人権、民主主義などが、米中関係を中心とした戦略的関係の中心的テーマとして浮上しています。企業から見ると、米国、中国とも大変に重要な市場でのビジネスの機会をどう捉えるかは大きなテーマですが、その両国が戦略的に対立する中で、ESG(環境・社会・ガバナンス)の原則を組み入れた投資は、収益創出の新たな機会であると同時に、「経済安全保障」という概念に象徴されるように、地政学的リスクへの対処という側面にも注意を払う必要性も喚起します。経済に新たな価値が組み込まれる中で日本企業はどのように行動すればよいのか、また日本にとってのチャンスと危機とは何かについて、国際政治の視点、国際金融の視点、日本産業界の視点から議論します。



申込方法

ご参加には事前のお申し込みが必要です。下記のウェブサイトまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://www.hit-u.ac.jp/extramural/kansai-a/index.html>

一橋大学関西・中部合同アカデミア

検索



注意事項

●お申し込みいただいた方には、事前にZoomウェビナー参加用のURLをメールにてご連絡いたします。●安定したインターネット環境でご視聴ください。通信料等はお客様自身のご負担となります。●Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには対応いたしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生したトラブルにつきまして、対応は致しませんので予めご了承ください。●投影資料等の配布はいたしません。●本シンポジウムは主催側にて記録・録画させて頂きます。記録・録画は、質疑応答を含め、後日YouTube等に掲載する場合がございますので、予めご了承ください。

●次の行為はお控えください。
・同時に2台以上のデバイスで本サービスを利用する行為
・本シンポジウムの録音、録画、撮影、その他の複製行為
・本シンポジウムの全部または一部を第三者へ提供する行為